

宮っこの居場所

子どもの居場所 ボランティア & 開設団体 募集中

宇都宮市では子どもたちが行きたいときに気軽に行けて、大人の見守りのもと、宿題をしたり食事をしたりしながら安心して過ごすことができる子どもの居場所「宮っこの居場所」づくりを推進しています。

※宮っこの居場所とは「親と子どもの居場所」と「子どもの居場所」の総称

遊べる場所

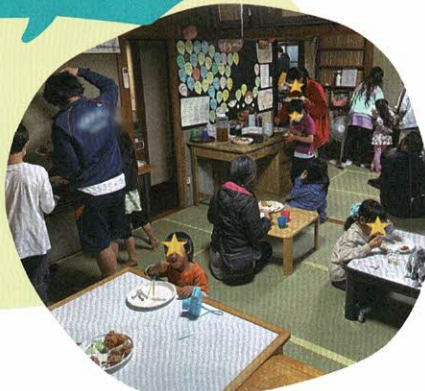


季節の遊びや自然体験

大人の見守りの中で、子どもが自由に遊んだり、季節の遊びや自然体験する機会を提供

子ども食堂

「子どもが一人でも来られる無料又は低額の食堂」として和やかな雰囲気の中で食事を提供



学習支援教室



学校の宿題や予習復習をするなど、学習習慣を身に付けてもらうことを主な目的に学びの機会を提供



子どもが安心できる暮らしを社会全体で支えるために

宇都宮市では、約3人に1人の子どもが、人とのつながりや体験活動の機会に恵まれない、家庭で学習の習慣が身についていないなど「関係性の貧困」の状態となっています。「関係性の貧困」状態が続くと、「成功体験が少ない」、「自己肯定感が低くなる」など、子どもたちは将来への希望を抱けないまま大人になり、次の世代に「経済的な貧困」が連鎖する傾向がみられます。宇都宮市子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査（H30）より

支援が必要な子育て家庭の孤立を防ぐとともに、関係性の貧困を断ち切ることが出来るよう、「子どもが身近な場所で利用出来る居場所」を充実させていく必要があります。

＼ ボランティア 募集中 /

「宮っこの居場所」では、各団体がそれぞれの特徴を活かして活動しています。

▶活動場所：市内の親と子どもの居場所・子どもの居場所

▶活動日時：平日 午後3時～（放課後）・土曜日 午前10時～（日中）など

▶内 容：子どもの遊び相手、子どもの見守り、イベントの手伝い、宿題・学習のサポート、調理など。

※ 募集内容は、居場所ごとによりますので、詳しくはQRコードからご確認ください。



ボランティアさんの声

- ・ 子どもたちが楽しそうに過ごしてるのを見ているとすごくうれしいです
- ・ 親でも先生でもない大人と関わる時間も子どもにとっては必要かなと感じます
- ・ 居場所で小さな経験の積み重ねをしてもらえればいいなと思い参加しています



＼ 開設団体募集中 /

子どもたちがより身近な地域で気軽に利用できるよう、新たに子どもの居場所を開設して下さる団体を募集しています。運営主体の特性を生かしてどのような居場所を運営するかご検討下さい。居場所の開設にあたり、まずはボランティアとして活動に関わっていただくことも可能です。

子どもの居場所 登録要件（補助金やサポート有り。詳細は、「宮っこの居場所 STARTBOOK」をご覧ください）

- ・ 地域の子ども（小中高生）が誰でも自由に利用でき、月2回以上、1回2時間以上開設
- ・ 子どもを5人以上受け入れられる施設で開設（1人あたり1.65㎡）
- ・ 子育て経験や子どもの見守り経験または同等の経験がある者を1名以上配置



【子どもの居場所の登録やボランティアに関する相談窓口】

宇都宮市子ども部 子ども政策課 平日 8:30～17:15 TEL 028-632-2344

【子どもの居場所の開設や運営に関する相談窓口】（一社）栃木県若年者支援機構 平日 10:00-15:00 TEL 090-9100-0821